

海洋理工学会 平成16年度秋季大会のご案内

プログラム

10月14日(木)

学会賞記念講演

- 10:00~10:40 堀田記念奨励賞受賞講演 植田真司(環境科学技術研究所)
汽水湖における生態系を考慮した放射性核種移行モデル開発の試み
一核燃料サイクル施設に隣接した尾駁沼への適用に向けて、その方法と手順一
- 10:40~11:20 論文賞受賞講演 日夏宗彦(海上技術安全研究所)
海洋観測用の船体に設けられた取水口から取水される流体の上流起源推定の研究
- 11:20~12:00 業績賞受賞講演 アレック電子株式会社
COMPACT シリーズによる海洋計測器の小型軽量化への取り組み
- 昼休み

シンポジウム「海の幸、その生産と安全性」

- 13:00~13:10 趣旨説明 コンビナー 荒井修亮 副会長(京都大学大学院)
- 13:10~13:50 きょうトリガイの養殖 藤原正夢(京都府立海洋センター)
- 13:50~14:30 ウナギの種苗生産 田中秀樹((独)水産総合研究センター養殖研究所)
- 14:30~15:10 クロマグロの完全養殖 澤田好史(近畿大学水産研究所)
- 休憩
- 15:20~16:00 魚類心理学 益田玲爾(京都大学フィールド科学教育研究センター)
- 16:00~16:40 水産物トレーサビリティーの標準化動向、日本と欧州
橋本民雄((株)システムインテック)
- 16:40~17:10 京料理と鯖街道 園部平八(日本料理アカデミー)
- 17:10~18:00 総合討論
- 18:00~20:00 懇親会

10月15日(金)

一般講演

09:00~10:40 Session 1 観測機器1: 座長 荒井修亮

- a1. ジュゴンモニタリングネットワークの構築 2 -ジュゴン鳴音発信源の追跡について-
○市川光太郎(京大院) 赤松友成(水工研) 新家富雄(SIT) 荒井修亮, 堤千華, 原武史
Kanjana Adulyanukosol(京大院)
- a2. 自動魚体回収装置の開発とオオナマズの回収実験
○山岸祐希子, 三田村啓理, 荒井修亮(京大院情報) 光永 靖, 中尾知弘(近大農)
Thavee Viputhanumas(タイ国水産局)
- a3. 無人観測船による定点保持機能を用いた連続観測
○千賀康弘(東海大) 鈴木隆生(ソエレック) 才野敏郎(名大)
- a4. 汽水・沿岸域調査のためのローコスト・コンパクトな音響調査機器(その2)
-サイドスキャンソナーによる水底調査-
○西村清和, 上嶋正人(産総研) 徳岡隆夫, 吹田歩(徳岡汽水環境研) 竹内俱佳(電通大名誉教授)
- a5. フリーの地図ソフトを利用した汽水・沿岸域調査
○吹田 歩(徳岡汽水環境研究) 西村清和(産総研)

【休憩】

10:50~12:30 Session 2 リモートセンシング、GIS: 座長 原 政直

- a6. GISによる海底表層堆積物のデータベース化 ○村上文敏, 片山肇(産総研)
- a7. Webを用いた地形図作成システムの開発
○中本加奈, 秋山正寿, 井上りえこ, 益山 忠(東海大海洋)
- a8. 福井工大 MODIS 受信システムを用いた若狭湾の赤潮監視 ○青山 隆司, 大家 寛(福井工大)
- a9. テラ・アクア衛星 MODIS 受信データによる原子力発電所温排水およびエチゼンクラゲ漂流に関する
熱バンド画像処理 加藤芳信, ○青山隆司, 藤田裕介(福井工大)
- a10. 短波海洋レーダによる海水観測の可能性について
○江淵 直人, 深町 康, 大島 慶一郎, 白澤 邦男, 石川 正雄, 高塚 徹, 若土 正暁(北大低温研)

【昼食】

13:30~15:10 Session 3 観測機器2: 座長 門馬大和

- p1. 地すべり模擬実験における地中電位変動の観測
○宮川崇雅, 渋谷義一, 野末鉄有(芝浦工業大学) 荻野将義, 齊藤幸賢(ドコモセンツウ)
森脇寛, 矢崎忍(防災科研) 谷川正志(応用地質) 飯高弘, 中野洋, 藤縄幸雄(産総研)
- p2. 海底地震計の性能向上 伊藤誠, ○田中仁氏(日本海洋事業)
- p3. Performance of Control and Monitoring Program Integrated via Network on Target Strength
Pattern Measurement System for Aquatic Organism (ターゲットストレングス測定機構における
ネットワークを介した制御・監視機能のパフォーマンスの検証)
○Ken Ishii, Kouichi Sawada, Yoshimi Takao (NRIFE, FRA)
- p4. 海洋地球研究船「みらい」搭載ADCPの精度向上

○今井康貴、奥村智、奥村慎也、藤岡換太郎(グローバル・財・システム・イノベーション)

p5. マルチチャンネル反射法探査エアガンシステムの運用について

柴田英紀、○大渡祐樹(日本海洋事業)

p6. 岩石採取用ドレッジ不具合と対策 ○牧 哲司、門馬大和、橋本菊夫、古田俊夫(海洋研究開発機構)

[休憩]

15:20~17:20 Session 4 生態系、モデル: 座長 中田喜三郎

p7. 底生生物群集の構造およびアサリ (*Ruditapes philippinarum*) 浮遊幼生の着底状況を指標とした高炉水砕スラグの機能評価

○本田是人、石田基雄、家田喜一、武田和也(愛知水試)

山口安幸(JFTエンジニアリング) 鈴木輝明(愛知水試)

p8. 浮遊系-底生系結合生態系モデルを適用する際必要となる調査(砂質干潟と泥質干潟における差異を含めて)

○畑 恭子・芳川 忍(国土環境)

p9. 宍道湖・中海における生態系モデルによる解析

○正木宏和, 中田喜三郎(東海大)

p10. 伊勢湾における生態系モデルによる解析

○酒井亨, 中田喜三郎(東海大)

p11. 東京湾における TBT の底泥への蓄積モデルについて

○山本讓司(産総研) 中田喜三郎(東海大) 堀口文男(産総研)

p12. 気象擾乱による陸奥湾の海況応答

○中田聡史, 石原靖文(日本エヌ・ユー・エス) 浦部和幸(富士電機)